

# 富山経協



カタクリの花 (解説・20ページ)

## CONTENTS

- 2 2015年度の活動について
- 3 2015年度 事業方針
- 4 2015年度 富山経協 年間事業活動計画表
- 6 TOP INTERVIEW  
アイティオ 伊東潤一郎社長
- 8 調査報告  
2015年4月新卒者等の採用に関する調査結果
- 10 理事会、幹事会 (報告)
- 11 長野経協との合同協議会、連合との懇談会
- 12 新会員の紹介
- 13 会員の動き
- 13 Keikyo行事レポート
- 15 参加者NOTES
- 20 おしらせ (婚活支援イベント)
- 21 景況指標
- 22 おしらせ・事業予定

# 2015年度の始まりにあたり



一般社団法人 富山県経営者協会

会長 稲垣 晴彦

富山県として待ちに待った新幹線がようやく開業となりました。また、まだ部分的な動きではありますが、生産拠点の海外からの国内回帰の動きも見られる中、株価も堅調に推移し、徐々に実体経済にも好影響が出て来ることが期待されます。

このような状況の下、県内ではサービス業を中心として新しい大型施設が開業となり、有効求人倍率が1.4倍を超えて高止まりしています。

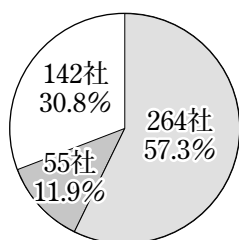
これは働く人にとってはベースアップなどを通じて収入の増加につながり、それが消費に回されることで、経済の好循環になることが期待されますが、一方では企業経営者にとって、人件費の増加や、極端な場合には企業活動の停滞にも繋がりがねません。そういう意味では個々の企業があらゆる手法を使って、労働生産性の向上を目指すことが、地域全体の発展に直接繋がっていくと思われれます。

富山県経営者協会としては、地方創生への強い意志を持って、このような課題を乗り越えて企業経営の立場から地域社会の発展にどのようにして資するかを会員の皆様と共に考えてまいりたいと思います。

今年度も、会員各位の皆様のご参画とご協力をお願い申し上げます。

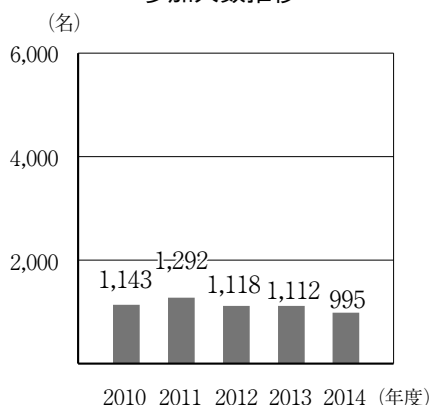
## 富山県経営者協会の現況

会員数：461社  
(2015年4月1日現在)

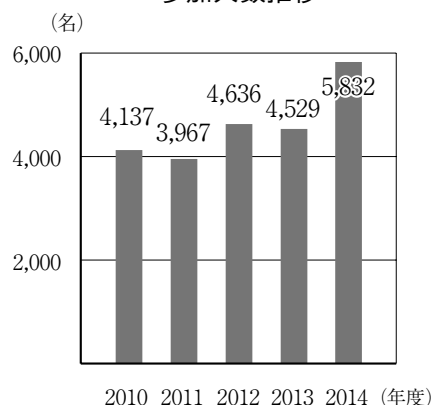


- 富山地区
- 東部地区
- 西部地区

会議（総会、理事会、各委員会等）  
参加人数推移



事業（講座・講演会・見学会等）  
参加人数推移



## 2015年度 事業方針

日本はこれまで、「失われた20年」と呼ばれる長期停滞に苦しみ、デフレも進む中で、名目GDPは、いまだ20年前の水準を下回り世界のGDPに占める割合も6.6%と、1990年時点の半分以下となっている。2012年12月に発足した第二次安倍政権は、「強い経済・強い日本を取り戻すこと」を最重要課題に掲げ、スピード感ある経済政策を相次いで打ち出し、経済環境は消費税増税後の減速は見られたものの、緩やかながらも確実な回復が続き、経済再生への期待が高まりつつある。

政府には、国民生活のセーフティネットである社会保障制度の継続可能性を確保するとともに、地域経済の発展・活性化、少子化対策、財政健全化に果敢に取り組み、国民が安心して暮らせる社会を構築することが重要な使命である。

一方、経営者はリーダーシップを発揮して明確なビジョンのもと、企業業績の改善を進めることにより、設備投資や雇用の拡大、処遇改善につなげていかなければならない。そうした日々の努力に裏付けられた企業の存続・発展が社会に付加価値として還元され、地域の安定につながる。

一般社団法人富山県経営者協会は、富山県という地域社会と、経済界を担う経営者という観点に立ち、地域の業種や規模を問わない経営者の集う「経済団体」としてのあるべき姿を常に見直し、行動し、結果を出すことにより、その役割を果たしていく。

具体的には、多様化する会員ニーズに対応した経営課題の研究、企業活動の源である社員への研修等の教育提供、労使関係の充実を目指した人事制度などの提案、会員同士の情報交換と人脈づくりの場の提供などにより、会員企業の更なる繁栄につなげていく。また、地域社会における民間の経済団体の代表格である位置づけの責任を果たすため、行政の雇用安定や地域振興の取り組みへの支援を行い、他経済団体との連携を深めて、地域社会の発展に努める。

以上の実現を目指し2015年度の事業活動を以下のとおり行なう。

1. 企業の存続なくして雇用はありえない。先の見えない企業環境において参考となる他社の取り組み・仕掛け、行政の雇用や人材育成、海外展開等の支援制度の情報提供活動を進めていく。
2. 企業の繁栄の源泉は究極的には人材力である。会員企業各社の実情に適合し、そこで働く人がより働きがいを感じ、自ら能力を向上する人事処遇・教育制度の実現に向けての支援を強化する。
3. 単独の活動には限界がある。行政並びに他の経済団体との連携を通して、当協会の各種事業の強化と充実を図っていくとともに、協会の枠を超えた人脈作りにつなげていく。
4. 公益性を高める活動を強化する。研究成果やアンケート結果などをマスコミやホームページで情報提供し地域社会の発展につなげる。そのために会員増強と会員相互協力のある各委員会活動への責任者の参画を促進する。

# 2015年度 富山県 経営者協会

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
会 議		理 事 会 (22日)	定 時 総 会 (25日)		会長・副会長会議 (3日) 北陸三県協議会 (10日)		理 事 会 (4日)	
事 業			講演会、座談会 (25日)		西部地区会員懇談会 (3日)		富山地区会員懇談会 (4日)	
広 報		富山経協4月号		富山経協6月号 講演録「不易流行」		富山経協8月号		
調 査		新入社員意識調査	初任給調査	夏季賞与調査 経営課題調査		女性社員意識調査		
委 員 会	総務交流	会議		定例委員会		定例委員会		
		活動		婚活支援イベント (6日)			富山経協ゴルフコンペ (26日)	
	人事労務	会議	幹 事 会	定例委員会 (21日)			定例委員会	
		活動			労働法関連法制 研究部会			労働法関連法制 研究部会
	教 育	会議		定例委員会 (29日)			定例委員会	
		活動	研 究 部 会	研 究 部 会	研 究 部 会	研 究 部 会	研 究 部 会	研 究 部 会
	品質管理	会議	幹 事 会 (8日)			定例委員会		定例委員会
		活動				委員企業見学会		
	環 境	会議		定例委員会 (27日)			定例委員会	
		活動		情報交換会(講演会) (27日)		環境保全活動	県との情報交換 情報交換会	
	経営企画	会議	定例委員会(9日)				定例委員会	
		活動						企業理念見学会
講 座 ・ セ ミ ナ ー	階 層 別	新入社員講習会 (2日)		中堅社員活性化 コース (17日・18日) <2日間> 仕事の基本「報連相」 セミナー (23日)	監督者(係長・主任 班長)基礎コース (7日・8日) <2日間>	女性社員活性化 セミナー (19日)	女性リーダー活性化 セミナー (16日) 管理職マネジメント研修 (9月～2016年5月) <12日間>	
	共 通		ビジネス・マナー 習得セミナー (20日)		方針管理実践講座 (16日～18日) <2泊3日>	なぜなぜ分析活用 セミナー (4日)	ISO14001 内部監査員養成講座 (3日・4日) <2日間> ヒューマンエラー 対策講座【実践編】 (8日・9日) <2日間> 改善力養成セミナー 【基礎編】 (15日)	
	労 務 管 理	人事・労務管理セミナー 第1回 (14日)		労働法実務講座 第1回 (10日)	人事・労務管理セミナー 第2回 (22日)		労働法実務講座 第2回 (10日)	
	品 質 管 理	品質管理入門講座【基礎編】 (4月17日～5月15日) <4日間>						
			実践しながら学ぶ 統計的手法活用講座 (5月28日～11月26日) <14日間>					
	生 産 管 理			IE手法による生産 現場の改善セミナー (3日)		ものづくりと現場改善実践 セミナー (24日～25日) <2日間>		
	購 置 管 理							
	営 業	営業力基礎セミナー (22日・23日) <2日間>						
経 理								

# 年間事業活動計画表

10 月	11 月	12 月	2016年 1 月	2 月	3 月		
	会長・副会長会議 (13日)				理事会 幹事会	会議	
	東部地区会員懇談会 (13日)		経済団体新春互礼会 (4日)		連合富山との懇談会	事業	
富山経協10月号		富山経協12月号	富山経協新春号	富山経協2月号		広報	
冬季賞与調査 経営課題調査	新春アンケート			新卒者採用調査	春季賃金改定状況調査 2015年度調査報告書	調査	
定例委員会		定例委員会				会議	委員 会
婚活支援イベント	企業見学研修会 会員交流ボウリング大会					活動	
	幹事会	定例委員会		定例委員会		会議	
	労働法関連法制 研究部会			労働法関連法制 研究部会		活動	
	定例委員会	定例委員会				会議	
研究部会	研究部会	研究部会	研究部会	研究部会	研究部会	活動	
		定例委員会		定例委員会		会議	
県外企業見学研修会				委員企業見学会		活動	
		定例委員会				会議	
環境保全活動 情報交換会(企業訪問)	県外企業見学研修会	情報交換会(講演会)		情報交換会(企業訪問)		活動	
		定例委員会				会議	
	企業見学研修会					活動	
係長・主任実践コース 第1回(6日・7日) <2日間> 若手社員活性化コース (14日)	管理職基礎コース (6日・7日) <1泊2日>			係長・主任実践コース 第2回(16日・17日) <2日間>		階層別	
ヒューマンエラー 対策講座【応用編】 (2日) 事務間接部門の効果 的業務改善の進め方 セミナー(21日)	コスト改善力実践 セミナー(10日) ISO9001 内部監査員養成講座 (10日・11日) <2日間>	「5S+目で見える管理 活動」実践セミナー (3日)		CS(顧客満足) 基礎セミナー (下旬)	改善レベルアップ セミナー【応用編】 (10日)	共通	
	労働法実務講座 第3回(18日)			労働法実務講座 第4回(23日) 春季労使交渉セミナー (上旬)		労務管理	
			品質管理入門講座【応用編】 (1月~2月)<4日間>			品質管理	
						生産管理	
					購買管理実践 セミナー(上旬)	購買管理	
						営業	
	経理・財務の基礎 セミナー(17日)					経理	

## 新分野開拓と技術への挑戦 集中を避けてリスク分散

アイティオ株式会社  
代表取締役社長

伊東 潤一郎 氏



プレス金型の製作では航空機分野にも進出されています。事業内容を教えて下さい。

金属プレス加工用の金型製造がメインで、売上げ全体の60~70%を占めています。内訳は、自動車産業向けが60%、建材向けが20%、航空機関連が10%、その他電子機器や家電向けなど、様々な精密金型を作っています。

また、金型加工の前後の特殊な

専用機や治工具を開発製造しています。プレス加工後の部品等を測定する装置や、組み立て時に使用される精密位置決めユニットなど、実際の製造現場で必要とされる機器を提案し開発を進め、売上高の30%超にまでなってきました。

創業からどのように発展してこられましたか。

1971年、軸受けや建材向けの簡

単なプレス金型の製造から始めました。取引先を徐々に拡大し、70年代の終わりには自動車部品の金型も手掛けました。この頃には技術力もつき、複数の工程を1台のプレス機で行う順送プレス加工向けの順送型も作り始めています。

—精密プレス金型・技術で発展—

私が入社した1996年当時は自動車の依存度が高かったです。入社前は松下電器で半導体の仕事をしていて関係もあり、新しく電機向けの金型へ参入しました。同時に、製造現場でどのような設備が使われ、どんなニーズがあるかが分かっていたので、専用機や治工具にも力を入れました。

色々な業種を対象に取り引きされていますね。

2000年頃、コンピューター関連の治工具を月に100台製造していたのですが、01年のITバブル崩壊と同時になくなってしまいました。以前から、自社の技術を色々な分野に応用できないかと事業展開してきましたが、これをきっかけに、意図的に仕事を集中させないようにしています。現在はトップユーザーでも売上高の30%を超えないようにしています。

どのような事業展開を目指されているのですか。

得意分野に特化する「選択と集中」の成功事例をよく聞きますが、その裏にはたくさんの失敗があると思っています。

景気変動リスクを分散するため、仕事と業界の集中を避け、金型、測定器、位置決めテーブル、治工具など幅広い品目を、自動車、建材、電機、航空機と業界を広げて、バランス良い展開を考えています。

選択と集中を避けることで、飛

躍的な成長は見込めないかもしれませんが、いきなりゼロになる不安材料を取り除くことはできません。電機業界は生産拠点の海外移転が進み、金型の仕事は少なくなりましたが、一方で専用機の仕事は残っています。

### 新しい分野に入るために、具体的にされていることは？

色々な仕事を受けられる前提は当社の精密な加工技術だと思っています。入社した時にまず驚いたのが「付加価値」の違いでした。ある部品のプレスに使う金型が1,000万円するのに、別の金型は200万円。作る物によってこんなにも違うのかとショックを受けました。高い技術力があるのなら、できるだけ付加価値の高い仕事をしたい、と思ったのが原点です。

どんな業界でも、自社の技術を活かすことができる領域があると思っています。新規分野の開拓が私の仕事で、「これまで『切削加工』によって、部品1つ1つを金属の塊から削り出していたものを、金型で『プレス加工』すれば、時間も人も材料も削減できますよ」という提案営業をやっています。

営業にも、設計図面1枚、部品1つ、どれだけの付加価値をつけられるかにこだわり、部品1個の単価がいくらかよく考えるように、いつも言っています。

### 技術力を高めるために必要なことは何でしょうか。

背伸びしなくてはできないような仕事をするのが、技術の構築に最も効果的だと感じています。初めて挑戦することが成長につながります。また、新しい仕事には納入後の変更やクレームがつきものですが、その中には色々な気づきがあり、解決の過程でさらに技術力が上がります。社員からは「また無茶な仕事を取ってきた」と言われますが、新しいことは面白そうじゃないですか。楽しいことが一番大事です。

### 一勘と経験から価値を高める

### 人口減少曲面に入り、労働力、人材不足が懸念されますが。

コンピューターの活用も考えなければなりません、1人あたりの生産性がこれまで以上に重要になるでしょう。日本の終身雇用制はこの業界においては強みだと感じています。プレス金型、特に複雑な順送型では、勘と経験と度胸が必要になります。設計者、技術者が何年経験したか、どれだけの金型に関わったかが技術の蓄積になり、会社の強みになってきます。技術と付加価値の構築を重要視すべきでしょう。

### 製造業の海外移転が進みました。海外進出の考えは。

当社の社員は地元で生まれ育った人達です。富山から出たことのない社員を海外へ派遣することが幸せかどうか、現時点では海外は

考えていません。それよりも、しっかり付加価値を追い求めて、戦略を立てていけば、まだ20年は日本で事業を拡大していく展望があります。そのためにも精密な技術を追い続けます。

### 人手不足により、事業継承が困難なケースも出てくるのでは。

そういった意味では今後、中小企業の提携や合併が進むのではないかと考えています。弱い会社が生き残りのために合併するのではなく、強い中小企業同士がそれぞれの強みを生かして一緒にやる方法もあると思います。海外へ進出するにしても、そうした考え方が必要になると思っています。

### 当面の目標を教えてください。

食品や医療、インフラなど、人の身体から近い業界は安定しています。そうした分野にも自社の技術でどう貢献できるか、どんな付加価値をつけられるかをテーマにしたいと思っています。

### 最後に座右の銘を教えてください。

「厳にして親しまれ、甘にして恐れられる」です。優しい社長で社員を不幸にしてはいけません。厳しくしながらも、社員を幸せにするのが社長の仕事だと肝に銘じて会社経営にあたっています。

### 会社概要

#### アイティオ株式会社

創業：1971(昭和46)年  
所在地：魚津市吉野675番地  
資本金：4,000万円  
事業内容：精密金型（プレス型）の設計・製作、専用機・精密位置決めユニットの製造、治工具・各種部品の製作  
従業員数：70名（2015年4月現在）  
売上高：約8億5,000万円（2014年6月期）  
関連会社：東部産業(株)  
URL：<http://www.ito-ito.jp>

### 略歴

1966(昭和41)年3月、魚津市生まれ。明治大学大学院工学研究科修了。松下電子工業(株)半導体事業本部勤務を経て、1996年(株)伊東製作所(現アイティオ(株))入社。2001年1月、代表取締役社長就任。



## 2015年4月新卒者等の採用に関する調査結果

### 前年比13.0%増加、非製造業は16.8%増

#### 2016年採用はさらに増加の見通し

当協会では標記調査結果をまとめた。これによると、2015年4月新卒者の採用実績は、全産業では前年比13.0%の増加となった。産業別の内訳では、製造業が8.8%の増加、非製造業が16.8%の増加となっている。

また、2016年4月の採用予定数については、具体的数値で回答があった企業で見ると、全産業では2015年4月の採用実績に対して10.0%の増加となり、産業別の内訳では、製造業が8.9%、非製造業が10.9%の増加となっている。

#### 〔調査対象企業等〕

調査対象は、当協会会員企業453社（2月1日現在）。225社から回答をいただいた（回収率49.7%）。内訳は製造業116社、非製造業109社である。

この調査は1995年より毎年行っているもので、今回は21回目となる。

### ■新卒者の採用状況

#### 1. 2015年4月採用実績

新卒者の採用状況を全産業・全学歴計で見ると、2014年4月（'14/4）の1,891人に対して2015年4月（'15/4）は2,136人で245人増加（+13.0%）となった。

産業別で見ると、製造業では'14/4の901人に対して'15/4が980人で79人増加（+8.8%）した。一方、非製造業では'14/4の990人に対して'15/4が1,156人で166人増加（+16.8%）と、製造業よりも増加幅が大きかった。

次に、学歴別にみると、短大・高専卒が2014年の144人から2015年の139人（5人減、▲3.5%）と減少した以外は、すべての学歴で増加している。増加数が最も多かったのが大学卒で184人（811人から995人）、増加率が最も高かったのが専門・専修卒で28.8%（59人から76人、17人増）であった。（図表1）

#### 2. 2016年4月採用予定

2016年4月（'16/4）の採用予定数について、具体的数値で回答があった146社の合計は1,449人で、同じ

146社の'15/4の採用実績1,317人に対して132人増（+10.0%）となっている。また、'16/4の採用予定者数を未定としている企業が79社（'15/4の採用実績819人）あり、これらの企業についても同様に増加が期待される。

産業別に比較してみると、製造業では'16/4の採用予定者数について具体的数値で回答があった75社の合計は646人であり、同じ会社の'15/4の採用実績593人に対して53人増（+8.9%）となっている。業種別では「汎用・生産機械器具製造業」（204人）と「金属製品製造業」（127人）が多くなっている。

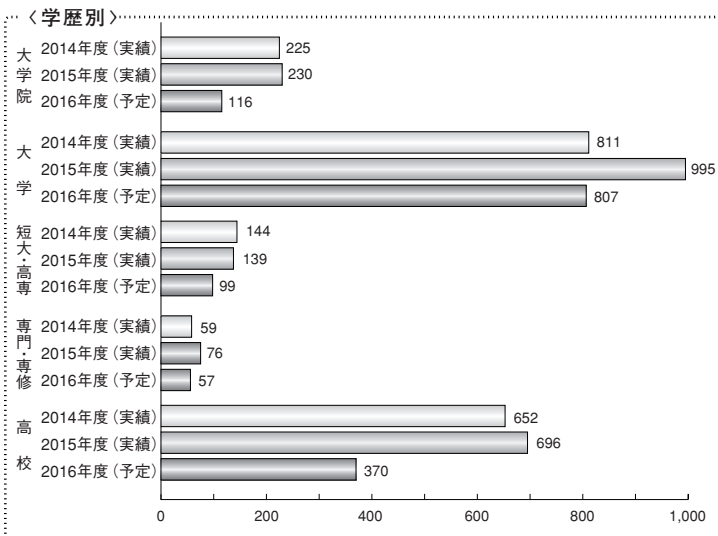
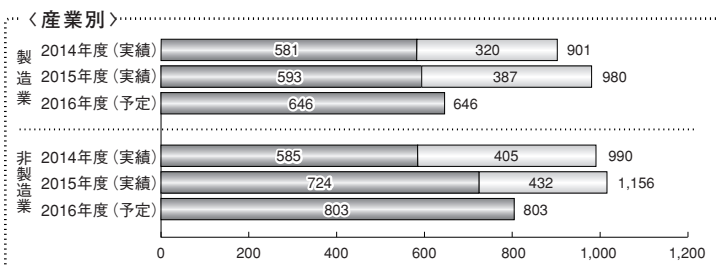
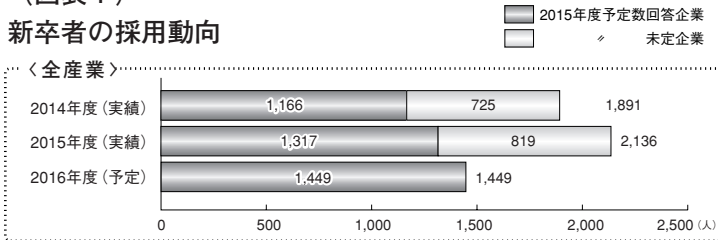
一方、非製造業では、'16/4の採用予定者数について具体的数値で回答があった71社の合計は803人であり、同じ会社の'15/4の採用実績724人に対して79人増（+10.9%）となっている。業種別では「金融・保険業」（256人）、「情報通信業」（156人）と「建設業」（125人）が多くなっている。

（図表1、表2）



(図表1)

新卒者の採用動向



(表2)

2016年度業種別採用予定状況

(単位:人)

産業区分	回答企業数		採用予定人数
		うち未定	
食料品・飲料	2	1	14
繊維	4	2	6
木材・パルプ・紙	7	2	25
印刷	7	5	22
化学	23	13	46
プラスチック・ゴム	9	1	54
鉄鋼・非鉄金属	4	2	35
金属製品	18	3	127
汎用・生産機械器具	24	7	204
電子・電気機械器具	9	0	87
輸送用機械器具	6	3	25
その他製造業	3	2	1
製造業計	116	41	646
建設	20	5	125
電気・ガス	2	2	0
情報通信	9	4	156
運輸	13	5	10
卸・小売	34	10	171
金融・保険	7	2	256
宿泊・飲食・生活関連	5	2	21
学術・専門・技術サービス	7	2	27
教育・医療・福祉	6	3	10
サービス・その他非製造業	6	3	27
非製造業計	109	38	803
全産業計	225	79	1,449

■中途採用の状況

2014年中(1~12月)に中途採用を行った企業は、225社中179社(79.6%)であった。2014年中の採用実績は3,293人となっている。

また、中途採用者のうち正社員として採用されているのは、3,293人中1,060人(32.2%)であった。



## 理事会

(2014年度 第5回)

3月3日(火)17時から富山電気ビル4階「寿の間」で、稲垣会長はじめ副会長6名、専務理事、監事3名が出席し、理事会を開催した。

(1)2015年度暫定予算承認の件、(2)新会員承認の件について審議し、承認された。

## 幹事会

3月3日(火)16時から、富山電気ビル5階中ホールで、69名が出席して幹事会を開催した。

稲垣会長の挨拶のあと、下記の報告があった。また富山大学遠藤俊郎学長から、学生支援や教育研究支援、国際交流支援、地域社会貢献支援等の一層の充実を図る目的で「富山大学基金」を創設。本基金の趣旨への理解と協力要請があった。



### (1) 2014年度事業報告

定時総会は5月26日に開催し、2013年度事業・収支決算、県に提出する公益目的支出計画実施報告書、2014年度事業計画・収支予算、新理事1名就任につき審議し承認された。

理事会は、4月24日、5月26日、9月5日の3回と、書面理事会を2月に開催した。本日幹事会終了後第5回理事会を開催する。

事業推進機関会議は、会長・副会長会議を1回開催した。会員懇談会は、7月に西部地区、9月に富山地区、11月に東部地区の3回開催した。

広報調査活動は、機関誌に新春号を新たに加え、7回発行。講演録は総会ならびに委員会での講演をまとめ、小冊子やホームページに掲載した。調査活動は、定期調査を7件、

緊急調査を3件実施した。

次に、委員会活動について、武内総務交流委員会委員長、笠井人事・労務政策委員会委員長、金岡教育委員会委員長、町野品質管理委員会委員長、三鍋環境委員会委員長、斎藤IT・インフラ委員会委員長、守山経営企画委員会委員長より、報告があった。

### (2) 2014年度収支見通し報告

受取会費は、会員増により約48.7百万円、事業収益はオーダーメイド研修の増により約58.2百万円、雑収益は約0.8百万円となり、経常収益は約107百万円を見込んでいる。これは、予算に対して約6百万円の増となる。

一方、経常費用は、オーダーメイド研修の謝金増により約108百万円となり、約2.2百万

円増となる。この結果、評価損益等調整前当期経常増減見込みは、マイナス0.8百万円となり、予算に対して約3.8百万円の収支改善となる。

以上を受けて、当期一般正味財産増減額はマイナス約1.3百万円となる見込み。

### (3) 2015年度暫定予算案報告

受取会費は約49百万円、事業収益は約57百万円、雑収益約0.6百万円を加え、約106百万円で予算を組んだ。一方、経常費用は引き続き経費縮減に取り組むが、オーダーメイド研修の講師謝金増を見込み、約106百万円とし、評価損益等調整前当期経常増減額はプラス150千円とした。

以上3議案について報告された。

## 長野経協との合同協議会

3月17日(火)、長野県経営者協会と富山県経営者協会との第2回目の合同協議会を開催した。

長野経協の山浦会長はじめ役員、事務局14名が来富。県庁に石井知事を表敬訪問し、山浦会長から、「新幹線開通により富山空港を利用する長野県民は確実に増加する。今後とも利便性を確保してほしい」との言葉があり、石井知事は、「これまで金沢に行く時間で長野市に行けるメリットは大きい。新しい経済交流が生まれるよう富山も頑張りたい」と述べた。

(株)不二越と(株)廣貫堂を見学。富山第一ホテル13階ルミエールでの懇親会には、富山経協の稲垣会長はじめ役員と県幹部ら18名が出席し、日吉県知事政策局長の音頭で乾杯し親睦を深めた。中締めでは、山

浦会長から長野と富山県民の交流がますます盛んになり、お互いがよい方向に向かうよう継続的に協議会を行っていききたいとの言葉があり、盛会のうちに散会した。



## 連合との懇談会

連合富山と富山県経営者協会との懇談会が3月3日(火)、ANAクラウンプラザホテル富山で開催された。



当協会からは稲垣会長はじめ、武内、綿貫、町野、松岡副会長、高田、浅野人事・労務政策委員会副委員長、佐藤専務理事の8名が、連合富山からは尾谷会長はじめ10名が出席した。

はじめに尾谷連合富山会長から「円安や株高などで潤っているのは一部の企業や富裕層に限られ、多くの働く者にはその恩恵は波及していない。消費税増税により、持続可能な全世代支援型社会保障制度の確立をめざしてきた社会保障と税の一体改革も足踏み状態となっている。

連合は、2015年春季生活闘争で「賃上げ」「時短」「政策・制度要求の実現」の取り組みを通じ、

「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」をめざしている。デフレに終止符を打ち、日本経済を持続的な成長軌道に乗せることができるか、あるいは賃金水準が停滞し物価だけが上昇する悪いインフレに陥るかが問われる中、経営者の社会的責任として、すべての働く皆さんへの「投資」で個人消費の喚起、内需拡大へつなげ、経済の好循環を作り出すことが求められているとし、①2%以上の月例賃金の引き上げ、一時金の水準引き上げ ②中小・地場企業の賃金改善 ③非正規労働者の賃金・労働条件の改善 ④ワークライフ・バランスの実現 ⑤最低賃金の引き上げ ⑥地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への産・学・官・金・労での連携推進を求めた。

これを受けて、稲垣会長は「景気の好循環により、今こそ持続的な成長への軌道に乗せなければならない。経営者側としても社会的責任と受け止めなければならない。賃上げには、商品やサービスの価格引き上げ、生産力の向上を並行して行わなければならない。この循環が軌道に乗ってこそ一定の賃金の引き上げが可能となる。企業ごとに環境が異なるため、賃金の引き上げは個々の企業判断となる」と挨拶した。

その後自由討論に入り、人口減少に伴う人手不足、人材確保等の県内雇用情勢、生産力の維持向上など幅広く意見交換を行った。

## 新会員の紹介

(50音順)

### ■ 岩城工業株式会社

所在地 富山市新庄本町二丁目7番45号  
代表者 代表取締役 岩城 敏雄  
設立 1961(昭和36)年3月  
資本金 1,000万円  
従業員 32名  
事業内容 産業用機械、火力、水力、原子力発電等を構成する部品の加工油圧ユニットの設計、製造



### ■ 株式会社 パナケイア製薬

所在地 高岡市中田4576番地  
代表者 代表取締役 萩原 彰人  
設立 2007(平成19)12月  
資本金 5,000万円  
従業員 226名  
事業内容 医薬品・医薬部外品(固形剤、内容液剤)の製造



### ■ 株式会社 旭東機械製作所

所在地 高岡市中保480  
代表者 代表取締役 般若 隆  
設立 1981(昭和56)年5月  
資本金 3,290万円  
従業員 25名  
事業内容 アルミ押し出し用金型製造、自動車部品鍛造用金型製造



### ■ 株式会社 日立製作所 北陸支社

所在地 富山市牛島町18-7  
代表者 支社長 相馬 淳一  
設立 1920(大正9)年2月  
資本金 4,587億9,000万円  
従業員 25名(富山県内)  
事業内容 電気機械器具の製造及び販売他



### ■ グリーンホスピタリティフードサービス株式会社 中部支社

所在地 愛知県名古屋市中区錦1-6-10  
代表者 支社長 岩東 光男  
設立 2010(平成22)年1月  
資本金 1,000万円  
従業員 75名(富山県内)  
事業内容 事業所給食営業等



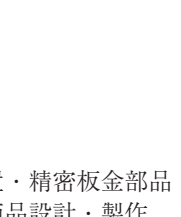
### ■ 株式会社 フクール

所在地 富山市豊田町2-12-8  
代表者 代表取締役社長 福崎 秀樹  
設立 1976(昭和51)年8月  
資本金 1,000万円  
従業員 10名  
事業内容 O A 機器販売と保守サービス



### ■ 三秀工業株式会社

所在地 高岡市上開発290  
代表者 代表取締役社長 笠谷 和宏  
設立 1970(昭和45)年6月  
資本金 1,000万円  
従業員 57名  
事業内容 機械カバー設計製作、電子装置・精密板金部品製作、店装用部品製作、景観商品設計・製作



### ■ 株式会社 山口技研

所在地 下新川郡入善町道古183  
代表者 代表取締役社長 山口 剛史  
設立 1977(昭和52)年6月  
資本金 1,500万円  
従業員 26名  
事業内容 自動車、電気、電子、液晶、医療、食品向け精密機械部品、金型の製造



### ■ 富山製鋳株式会社

所在地 富山市新庄本町二丁目5-43  
代表者 代表取締役 白川 健作  
設立 1951(昭和26)年3月  
資本金 2,000万円  
従業員 30名  
事業内容 リベットの製造及び販売



# 会員の動き

(50音順) (敬称略)

## ■ 代表者の変更

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 富山支店  
支店長 石原 正幸 (前:花井一浩)

川田建設株式会社 北陸支店  
支店長 田上 弘玄 (前:塚本康博)

コマツキャストックス株式会社  
代表取締役社長 岩崎 章夫 (前:佐々木 一郎)

損保ジャパン日本興亜株式会社 富山支店  
支店長 松永 暢浩 (前:三條紀明)

富山化学工業株式会社 富山事業所  
常務執行役員富山事業所長兼富山工場長  
早川 弘 (前:成田弘和)

豊田通商株式会社 北陸支店  
支店長 山内 邦宏 (前:飯田敏行)

株式会社 ナチハイドロリクス  
代表取締役社長 前沢 則浩 (前:長谷川高則)

株式会社 ナチロジスティクス  
代表取締役社長 吉田 和人 (前:佐藤敏彦)

日本曹達株式会社 高岡工場  
執行役員工場長 高野 泉 (前:菊池昭彦)

株式会社富士薬品 生産事業本部  
取締役生産事業本部長 萩原 彰人 (前:中川正之)

明治安田生命保険相互会社 富山支社  
支店長 岡本 光浩 (前:横田雅俊)

## ■ 社名の変更

株式会社北陸近畿クボタ (旧:株式会社富山クボタ)

## ■ 所在地変更

朝日印刷株式会社  
富山市一番町1-1-1 一番町スクエアビル

## Keikyo行事レポート

2015年 2月10日~4月10日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	環境委員会「情報交換会」	環 境	2月23日(月)	アイシン軽金属(株)	16名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	2月23日(月)	富山経協・研修室A	22名
	IT・インフラ委員会「定例委員会」	IT・インフラ	2月23日(月)	富山第一ホテル2階「桂」	10名
	労働法関連法制研究部会	人事・労務政策	2月26日(木)	富山経協・研修室A	11名
	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	2月27日(金)	富山化学工業(株)	24名
	連合富山との懇談会		3月 3日(火)	ANAクラウンプラザホテル富山	7名
	理事会		3月 3日(火)	富山電気ビル	11名
	幹事会		3月 3日(火)	富山電気ビル	66名
	品質管理委員会「幹事会」	品質管理	4月 8日(水)	富山経協・研修室A	9名
経営企画委員会「定例委員会」	経営企画	4月 9日(木)	富山経協・研修室A	10名	
講 座 ・ セ ミ ナ ー	労務管理実務基礎講座	人事・労務政策	2月10日(火)	富山経協・研修室A	12名
	管理職マネジメント研修	教 育	2月20~21日(金~土) 3月12日(木)	富山県農業総合研修所	21名
	品質管理入門講座(応用編)	品質管理	2月19日(木)	富山経協・研修室A	25名
	第2回係長・主任実践コース	教 育	2月17・18日(火・水)	富山県市町村会館	43名
	中小企業のための情報セキュリティ基礎セミナー	IT・インフラ	2月25日(水)	富山経協・研修室A	22名
	第4回労働法実務講座	人事・労務政策	2月26日(木)	富山商工会議所ビル	41名
	C S顧客満足基礎セミナー	教 育	3月 4日(水)	富山商工会議所ビル	31名
	購買管理実践セミナー	教 育	3月13日(金)	富山商工会議所ビル	28名
	改善力レベルアップセミナー(応用編)	教 育	3月19日(木)	富山商工会議所ビル	58名
2015年 新入社員講習会	教 育	4月 2日(木)	富山県市町村会館	106名	

## 人事・労務政策委員会

### ■定例委員会

2月23日(月)、笠井委員長はじめ21名が出席して、富山経協・研修室Aで開催した。



日本女子大学講師の額田春華氏が「富山県製造業における女性社員の育成と活用に関する調査の中間報告」と題して講演した。①富山県は女性の正社員比率が高く

(全国第1位51.9%、全国42.5%)、M字カーブが緩やか。②勤労者2人以上世帯の収入は全国第3位だが、男女とも所定内賃金は低く、所定外(残業代)が極端に多い。③女性の管理職比率が低い(全国40位前後)。④県内企業10社での聞き取り調査では、女性社員の役割分担に偏りがあり、個人での完結型の業務が大半を占めることによる「人員不足」「残業時間の長さ」「有給が取りにくい」などの問題が挙がっている。⑤企業マネジメントにより、男女均等の組織変革はきちんとステップを踏めば可能である。柔軟な働き方を進めるために「関わり合う仕事の進め方」の構築が一つのポイントであ

るとした。

また、富山県インターンシップの活動について、今年度参加企業213社へ来年度採用活動の後ろ倒し(8月開始)にともなう夏休み中のインターンシップ活動への影響についてアンケート調査をした。結果、大半の企業・団体が従来通り夏休みのインターンシップ参加を予定しているとし、採用後ろ倒しの影響は少ない模様との報告があった。

次に事務局から、次世代育成支援対策推進法が改正され、平成27年4月から10年間延長となり、一般事業主行動計画の策定に関しても一部改正されたことが報告された。

### ■労務管理実務基礎講座

1月14日(水)～2月10日(火)、12名が参加して「労務管理実務基礎講座」(全5回)を開催した。

人事労務実務担当者向けに、自社の就業規則とモデル就業規則を照らし合わせながら、記載内容の法律的根拠を正しく理解し、問題解決に役立つ知識を身につけることを狙いに、第1回目「就業規則

の整備・記載事項の点検」、第2回目「採用と退職の実務」を島崎



裕美子社会保険労務士が、第3回目「労働時間(時間外)・休日(休暇)の管理、第4回目「賃金(賞与、退職金)・休職の取り扱い」を松村恵子特定社会保険労務士が、第5回目「服務規則と懲戒および解雇のルール」を事務局が担当した。

### ■労働法実務講座(第4回)

2月26日(木)、「改正パートタイム労働法の対応と留意点」をテーマに、41名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

2015年4月に施行されるパートタイム労働法の主な改正点について、第一芙蓉法律事務所の木下潮音弁護士が解説した。①パートタイム労働者の公正な待遇の確保 ②納得性を高める措置 ③実効性を高める規程の新設、特に労働契約の内容と実際の労働条件に不合

理があった場合、違反に対して過料、勧告違反の場合は社名の公表となる。また賃金、教育研修などで差別することを禁止、社内に相談体制を設け、苦情に対して自主的解決体制の構築を求めている。労働契約法第20条「期間の定めがあることによる不合理な労働条件に禁止」と今回のパートタイム労働法改正により、従来からの労基法第3条「均等待遇」第4条「男女同一賃金の原則」などとあわせて、訴訟がこれまで以上に増加す



る可能性は大きい。なお、現在国会中程中のいわゆる女性新法が成立すれば、一層対応に配慮が必要となるとした。

## 教育委員会

### ■第2回係長・主任実践コース

2月17日・18日(火・水)、43名が参加して、富山県市町村会館で開催した。講師の佐藤充昶(たかてる)ヒューマン・クリエイト代表より、今日の企業環境変化と係長主任の役割について、グループワークでの活発な意見交換を交えて講義が行われた。

この中で、①目標を達成するためには、資源を効果的・効率的に活用する ②企業利益を生むためには、顧客満足やサービスの向上、



品質管理を徹底することで顧客が ついてくる ③問題・課題解決や改善活動が活発に行われる職場の風土づくりが一層重要である ④人の扱い方については、外部要因と個人の価値観・資質・性格・過去の経験などの要因が複雑にからみあうので、個別の対応が必要である ⑤積極的傾聴が大切で、部下指導・コーチングの際には、部下自身の考える力を養うことが必要であるとした。

(「参加者NOTES」15頁掲載)

### ■CS顧客満足基礎セミナー

3月4日(水)、31名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

講師の羽田野正博フォーワン代表取締役は、「安くて良いものを作れば売れる」というプロダクトアウトの発想を捨てて、あらゆる



部門・あらゆる業務プロセスを「顧客満足・顧客価値」の視点から見直すことが、従業員のモチベーションを高め、企業が永続的に発展していくために必要不可欠であるとした。さらに、どうやって顧客の声に耳を傾ければ良いのか、ビジネスモデルをどのように捉えるのか、顧客価値を実現するために必要なことは何なのか、チームで価値観を共有して成果を上げるにはどうすれば良いのか、などについて3つの事例をもとにグループで検討した。



### 参加者NOTES

教育委員会

## 「係長・主任実践コース」を受講して

救急薬品工業株式会社  
研究開発部

小梶 和彦



現在の企業を取り巻く環境の変化と係長・主任の役割、仕事の管理と問題解決、人間行動の理解と部下の育成、リーダーシップと職場の活性化などについて学んだ。

経営における二大概念は「マーケティング」と「イノベーション」であり、要求・ニーズを満たし、より良い商品・サービスを提供することが重要である。また、企業の発展において、「経済学」を中心とした考え方と「経営学」を中心とした考え方があるが、これからの企業は「経営学」を中心に考えるべきである。「経済学」を中心とした

考え方では、企業の利益としては伸びるかもしれないが、社会性が低下するとのことであった。

係長・主任は、組織においては経営者層と管理者層の方針を受けて、第一線の人々の仕事を円滑に遂行させる「監督者層」に位置付けられている。監督者層は、上司の補佐、同僚・他部門・社外調整、業務管理、業務改善及び部下の育成・支援といった役割があり、これらの役割を果たすためにマネジメントの5機能を活用する。

マネジメントの5機能は、計画、組織化、指令、統制、調整から成

っており、これらの機能を循環し、繰り返される。私自身は日頃からPDCAサイクルを意識し業務を遂行しているが、改めて今回学んだマネジメントサイクル(PODCC)の重要性を感じた。

また、グループ討議においては、係長と部下の様々なケースにおいて問題点や解決手段を協議した。その中で、グループ内各人で視点・とらえ方が異なっていたが、解決手段としては同様の結論となった。係長・主任の取るべき行動として、仕事に対する目標や方向性を明確にし、日頃からコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことが大切である。

最後に、本講義を受講して、自らが不足している点について改めて気付かされた。今回学んだ知識や手法を積極的に活用し、今後の業務に繋げていきたいと思う。

## ■購買管理実践セミナー

3月13日(金)、28名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

「購買担当者の基本実務と実践」について、公益財団法人日本生産性本部 主席経営コンサルタントの藤本忠司氏は、購買部門の責任と役割は変化しており、経済環境が大きく変化して売上高を伸ばすことが難しくなる中で、単に商品の調達を行うだけの部門でなく

利益貢献部門となることが期待されているとした上で、調達改革を進める際には必ずトレードオフに直面することや、ビジネスパートナーとの関係見直しが必要になることなどを、具体的な成功事例・失敗事例を交えて解説した。

また、調達コストの削減が利益に与える影響を実際に計算するワークで、購買部門の役割の大きさを再認識し、物品の適正な市場価



格について検討するワークで、自らの購買センスを確認した。

## ■改善レベルアップセミナー (応用編)

3月19日(木)、58名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

この講座は、9月に開催した「改善セミナー基礎編～改善力養成講座～」に続く応用編で、改善活動を「指導・推進・牽引」するための具体的なノウハウについて検討し、改善活動の推進役・改善エキスパートを育成し、改善活動のレベルアップを実現するために実

施している。

日本HR協会K A I Z E N事業部「創意とくふう」編集人 東澤文二講師は、手間をかけず、カネをかけず、知恵を出して「工夫」す



る改善が重要であり、改善のレベルアップのためには、「改善を積み重ねる連続改善」と「改善を組み合わせる複合改善」が有効であるとした。また、参加者が実際に企業の現場で抱えている問題・課題について具体的な改善事例に基づいて詳しいアドバイスが行われたほか、受講者が改善事例を書き出し、セミナー終了後に講師が取りまとめて後日、改善の定石集としてフィードバックした。

## ■2015年度新入社員講習会

4月2日(木)、県内企業各社の新入社員106名が参加して富山県市町村会館で開催した。



富山トヨタ自動車(株)品川祐一郎社長(当協会教育委員会副委員長)の挨拶の後、とうざわ印刷工芸(株)東澤善樹社長が「新入社員の皆さんに望む」と題して講演した。この中で、新入社員に期待することとして「会社に新しい風を吹き

込む存在」「会社を成長させる存在」「会社を変える存在」となって会社に必要とされる存在を目指して欲しいとした。また、新入社員に身に着けて欲しいこととして「あいさつ・礼儀・発声」「姿勢・取り組み方」「立ち居振る舞い・行動のしかた」の3点を挙げた。

続いて、公益財団法人日本生産性本部 主任経営コンサルタントの太田昌宏講師より「企業人としての心構え・態度の確立と仕事の進め方」と題して、学生生活と職場生活の違い、仕事に取り組む意識・態度、職場のルールとエチケット、効果的な仕事の進め方などについて講義が行われた。

午後からは、富山トヨタ自動車(株)人財開発室/営業企画課の富田有

希氏が「新入社員のみなさんへ」と題して、自らの新入社員時代の体験談や、仕事に対する姿勢などについて講演した。その中で、人は一生懸命働くことによって役割に気づき、人から必要とされる存在になるとした上で、「与える」心が他人の人生を変えるとした。

最後に、太田講師が「職場のマナー」と題して、社会人としての言葉遣い、敬語の基本、電話の受け方・かけ方・取り次ぎ方、名刺を交換する際の注意点、電子メール作成のポイントや利用時の留意点について解説した。

参加者は一日の講習を通して、社会人として仕事に向き合う覚悟を新たにしていた。



## 品質管理委員会

### ■定例委員会

2月27日(金)、町野委員長はじめ委員24名が出席して、富山化学工業(株)富山事業所で開催した。

委員企業見学では、事業所の概要や歴史、新薬候補化合物を創出する体制について紹介頂いた後、原薬工場と製剤工場を見学した。原薬工場では粉末状や液状の原材

料受け入れから化学反応を経て乾燥までの原薬製造ラインを、製剤工場では原薬を造粒・打錠して錠剤を製造するプロセスを見学した。また、製品改良の歴史や品質管理・衛生管理に関する取り組み、改善活動について両工場の担当者から説明を受けた。

定例委員会では、2015年度の各



講座・行事担当委員について説明し、希望調査を行うこととした。

### ■幹事会

4月8日(水)、町野委員長はじめ幹事9名が出席して富山経協・研修室Aにおいて開催した。



町野委員長挨拶の後、事務局より今年度の具体的な事業活動について報告した。今後の定例委員会の進行について、①委員会企業見学会の候補先、②グループディスカッションのテーマを協議した。

より一層の委員会活動の活性化をめざし、幹事会社の増員について町野委員長から2社の候補が出され、

就任を打診することが了承された。

講座、行事の現状を把握し、問題点・課題を見つけ出す担当委員については、希望調査を行い了承された。

県外企業見学会候補先については、次回開催の定例委員会で決定することとした。

### ■品質管理入門講座<応用編>

1月22日(木)から2月19日(木)までの4日間の日程で、25名が参加して富山経協・研修室Aを会場に開催した。

この講座は、職場の改善活動を通して、仕事の「質」と「生産性」を高めるために、受講者全員が品質管理の基本に基づき、QC



七つ道具を利用しグループディス

カッションを中心に模擬改善活動を通して、異業種交流ができる。

企業をあげての改善活動が根付くために、人材育成の重要性が一層要求されるようになってきており、認定試験に合格した受講生は、「品質管理初級」の資格を手にした。

(「参加者NOTES」19頁掲載)

## 環境委員会

### ■情報交流会

2月23日(月)、白江副委員長はじめ委員16名が参加してアイシン軽金属(株)で開催した。この会は、委員企業の環境への取り組み状況を見学して、情報交換の場とすることを目的に開催している。

アイシン軽金属(株)代表取締役副

社長 村上哲氏の挨拶のあと、安全環境部部長 磯部琢哉氏から、会社の沿革、事業内容、環境への取り組み状況等について説明いただいた。その後、工場を見学し、豪雨対策、環境異常ゼロへの取り組み、5Sへの取り組み等について活発な意見交換を行った。



## IT・インフラ委員会

### ■第4回定例委員会

2月23日(月)、齊藤委員長、清水副委員長はじめ10名の委員が出席し、富山第一ホテルにおいて開催した。

齊藤委員長の挨拶の後、「情報システム部門の存在意義と役割」をテーマに勉強会を行った。情報システム部門のあるべき姿、期待されている役割について2グルー

プに分かれて、活発に意見交換した。事前に各社で行ったヒアリングの結果から、ほとんどの経営者



が情報システム部門に対して業務の効率化や積極的な提案を期待していることが明らかになった。講師のITコーディネータ富山会長吉田誠氏は、情報システム部門の担当者はシステムだけでなく自社の業務プロセスを理解し、業務の効率化に資する提案を積極的に行うことが求められているとした。

### ■中小企業のための

#### 情報セキュリティ対策セミナー

2月25日(水)、22名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

ITコーディネータ富山会長の吉田誠氏は冒頭、企業における情報セキュリティ対策の実態を紹介したうえで、情報セキュリティの基本的な考え方や日常業務に潜む情報漏えいリスク、コンピュータを利用する際の脅威とその対策、企業に求められている情報セキュリティ対策などについて解説した。

また、チェックシートを用いて自社のセキュリティレベルを確認し、現状に応じたセキュリティ対策の進め方について検討した。さらに、従業員のSNSへの投稿が原因で「炎上」が発生するリスクや、工場などで使用する制御システムのメインフレームからオープンシステムへの切り替えに伴うウイルス感染リスクとその対策などについても、ドラマ形式のケースを用いて紹介した。



## 経営企画委員会

### ■2015年度第1回委員会

4月9日(木)、守山委員長はじめ委員10名が出席して富山経協・会議室において開催し、理事会特命事項への対応について審議を行った。



守山委員長より、本日は理事会からの特命事項を受け、2015年度事業並びに委員会体制についてご審議をいただきたいとの挨拶があった。

事務局より、①2015年度の協会テーマは「人口減少と企業活動」となった。これを受けて「女性の活躍」を当委員会の研究テーマとしたい。②「IT・インフラ委員会」と統合して、「経営企画・IT委員会」と改組し、中小企業のITに関しての研究を行う「IT・インフラ部会」を設ける案を理事会に諮ることを説明した。審議

を行い、事務局案で進めることを決定した。次に、昨年度実施した県の「高度ものづくりマネジメント研修」は本年度も継続することを決めた。次回委員会は8月6日に開催する。





## 参加者NOTES

品質管理委員会

### 品質管理入門講座（応用編）を受講して

トナミ運輸株式会社  
運輸統括本部 品質管理部 関 章真



今回のような講座に参加するのは初めてであり、また、受講者の皆さんは製造業の方が多く私とは業種が違い、若干の不安は有りましたが、講師の向川さんより、「講義の内容としては基礎編と若干重なる部分があり、いろんな業種の方が参加しているので業種に合わせた講義をして行きたいと考えている」との言葉を頂き、とにかく受講させて頂くからには、一生懸命やろうと思いました。

さて、メインの講義はQC手法の習得が主な内容で、初心者の方にも分かるようにと、まず「QCとは何か～QC的なものの見方・考え方」を教えてくださいました。見方・考え方には12項目が有りましたが、私の中で印象に残っている項目は、①品質第一 ②PDCAサイクル ③人間性の尊重です。

品質とは非常に大きな括りですが、製造業、サービス業どの業種にもお客様から求められることであり、一番大切な事だと実感しました。「PDCAサイクル」は現在、トナミ運輸でも適用している店所があり、身近なものに感じ、問題解決をするためには必要なサ

イクルだと再確認しました。

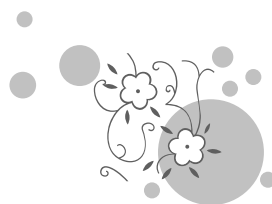
「人間性の尊重」は特に印象に残っており、QC活動の中で一番大切な事だと感じました。話し合いをする中で、意見を出しやすくするために、どんな意見でも褒める。褒めることによってまた新たな意見が出てくる。簡単そうでなかなか難しい事です。効果としては、「認められた喜び」「成長した喜び」等、意欲が持てる材料となり、人間性の尊重は今後、指導者となるためには必要な要素ではないかと感じました。

メイン講義のQC手法習得では、QCストーリーの作成方法を教えてくださいました。ストーリーを作成するに当たり、特に大切な項目は、テーマ選定と要因の解析という事でした。テーマの選定は、会社で現状起きている問題を3～4つ挙げ、会社の方針、実力、重要性、コスト面などの評価点を付け、最も重要と考えるテーマを選定します。私は運送業で働いているため、「商品事故削減」（お客様から預かった商品を壊してしまう事）をメインとして、その中の「運送中の商品事故削減」をテーマに選定

しました。現状把握を行い、テーマに対して目標を立て、要因解析を行いました。「なぜなぜ分析」の手法で、なぜ問題が発生するのか特性要因図を使用して解析しました。

テーマ選定や要因解析の時は必ず宿題として持ち帰り、【まず自分で考える→全体に考えを発表する→先生にコメントを頂く→GDで発表・意見交換】という流れで、他業種の方が抱えている問題点に対して、意見を出し合いました。グループ内で意見を出し合える雰囲気作りが大切だと感じましたし、他の参加者の方から意見を貰う中で違った方向から見直すことができたように思います。

今回の講義では製造業からの参加者が多く、若干製造関係のQCに重点が置かれていたかと思いますが、「トナミ運輸で考えるとこういう事なのかな」などと置き換えて考える事もできましたし、講師の向川先生が丁寧に教えて下さったお陰で完璧ではないですがQC手法という活動の流れが分かったのではないかと思います。今後、トナミ運輸としてQCを取り入れていく店所が増えていくと思います。指導する立場ではないですが、講座の内容を思い出し、トナミ運輸に合ったQC活動のルール作り、現場の問題解決に携われればと思います。有難う御座いました。



お知らせ

【婚活支援イベント】

素敵な出会いを見つけませんか？



6月6日(土) 10:30 スタート

# ボウリング & ランチパーティー

会 場：富山地铁ゴールデンボウル、ホテルグランテラス富山

募 集：独身男女 各20名(先着順)

応募要件：富山県経営者協会の会員企業に勤務されている方

参 加 費：お一人様 5,000円



募集開始

4月15日(水)～

FMとやまホームページ (<http://www.fmtoyama.co.jp>) にて受付



表紙の花 カタクリの花

(富山県中央植物園 中田政司)

## 万葉集に詠まれたカタクリ

物部 (もののふ) の

八十少女 (やそをとめ) らが汲みまがふ

寺井の上の堅香子 (かたかご) の花

(卷十九の四一四三)

万葉集に1首しかないカタクリ (かたかご) の歌は、当時越中の国守であった大伴家持が詠んだものです。少女たちが水を汲みに来ている寺の泉の近くに咲くカタクリの花を愛でたもので、早春に鮮やかな赤紫色の花をつけるカタクリに、古の歌人も雪国に春が来た喜びを感じとったのでしょう。乙女らの可憐な美しさと、咲き乱れるカタクリの花とが重なり合います。この歌が富山で詠まれたことに嬉しさを感じます。

## 昆虫に花粉を運ばせるしくみ

カタクリはユリ科の球根植物で、夏には葉が枯れて眠りにつきます。今ではジャガイモに替わってしまいましたが、昔はこの球根 (鱗茎) からデンプンを取ったので「片栗粉」という名前が残っています。

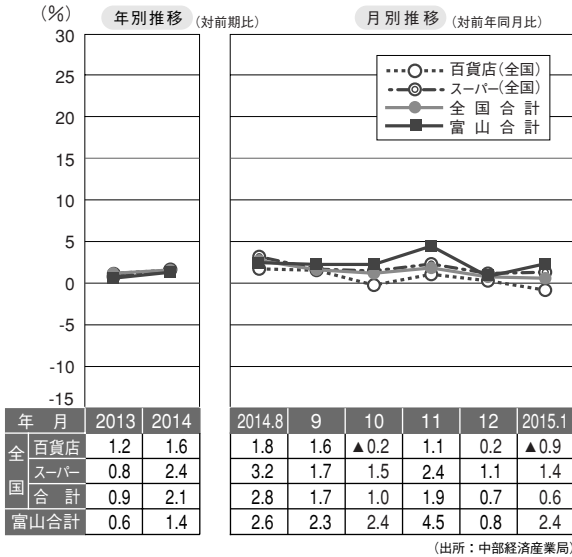
カタクリの花は篝 (かがり) 火を連想させます。蕾はチョウやハチが活動できる気温15～20℃になると開き始め、花被片が上に反り返り、中から雄しべと雌しべが現れます。虫たちは花の奥にある蜜を吸うため、長く突き出た雄しべと雌しべにとまるしかなく、否が応でも体に花粉を付けることになります。昆虫に花粉を運ばせる、花の巧みな進化がみられます。



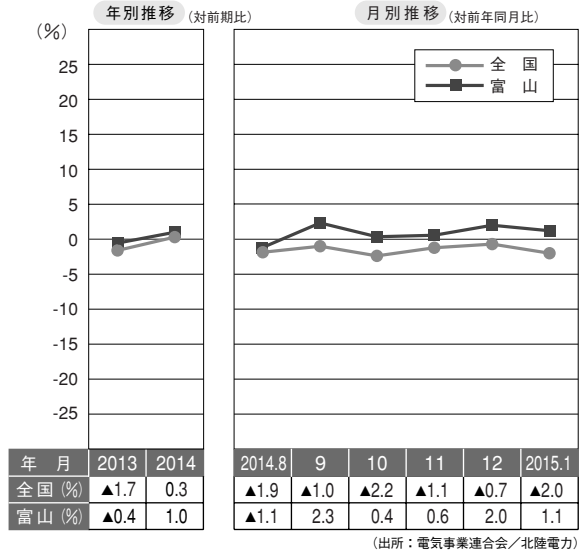
開く前のカタクリの花

# 景況指標

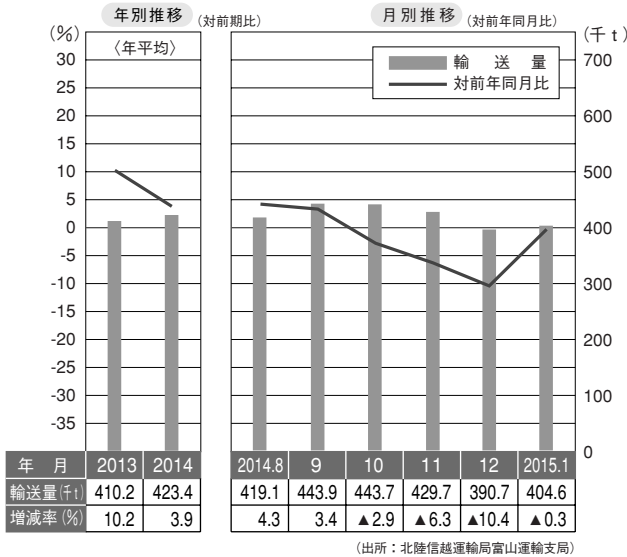
## ■百貨店・主要スーパーの売上高



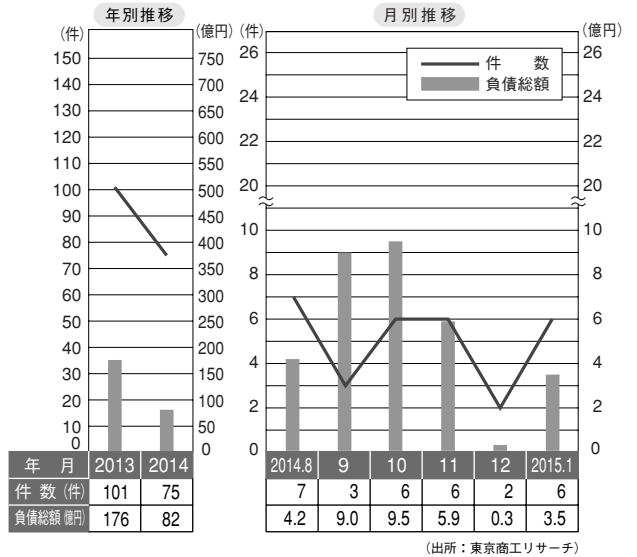
## ■大口電力消費量 (製造業計)



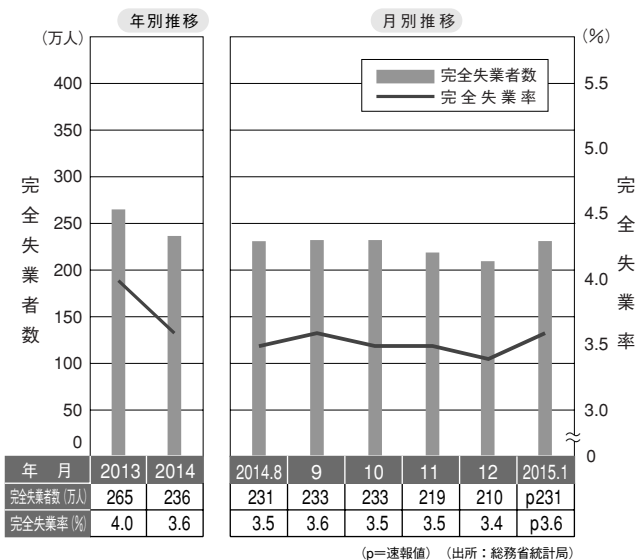
## ■一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



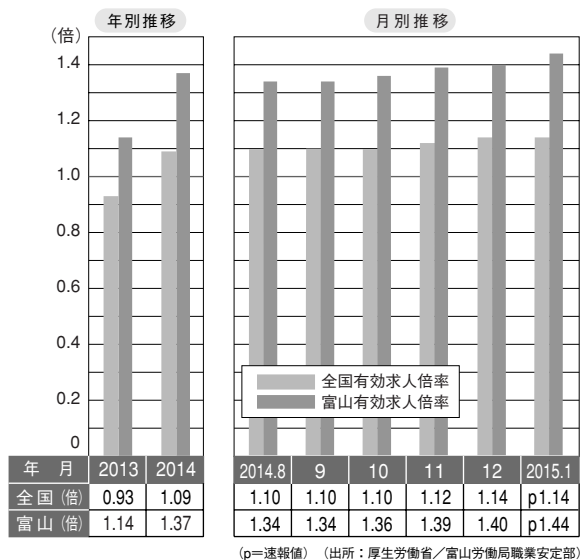
## ■企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



## ■完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



## ■有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



5月25日(月)

一般社団法人 富山県経営者協会

## 第70回 定 時 総 会

15:30～16:00 定時総会 (富山国際会議場 2階)

16:10～18:20 講演会・座談会 (富山国際会議場 3階メインホール)

『人口減少に、地域・企業はどう対応するのか』(仮題)

16:10～17:10 講演会

講師：菊地 和博氏 (内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 事務局次長)

17:20～18:20 座談会

森 雅志氏 (富山市長)

菊地 和博氏

竹田 伸一氏 (財務省 北陸財務局長)

市井 正之氏 (あいの風とやま鉄道株式会社 代表取締役社長)

稲垣 晴彦 当協会 会長 (北陸コカ・コーラボトリング株式会社 代表取締役社長)

18:30～19:40 懇親会 (ANAクラウンプラザホテル富山 3階「鳳」)

## 事業予定

2015年 4月16日～6月15日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)  
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所
会 議	4月22日(水)	17:00～18:00	理事会		富山経協・研修室A
	4月27日(月)	16:00～17:30	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	富山経協・研修室A
	5月21日(木)	16:00～17:30	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	富山経協・研修室A
	5月25日(月)	15:30～20:00	定時総会・講演会・座談会・懇親会		富山国際会議場・ ANAクラウンプラザホテル富山
	5月27日(水)	15:00～16:30	環境委員会「情報交換会」	環 境	富山商工会議所ビル
	5月27日(水)	16:30～17:30	環境委員会「定例委員会」	環 境	富山経協・研修室A
	5月29日(金)	16:00～17:30	教育委員会「定例委員会」	教 育	富山経協・研修室A
講 座 ・ セ ミ ナ ー	4月17・24日(金) 5月 8・15日(金)	9:00～17:00	品質管理入門講座<基礎編>	品質管理	富山商工会議所ビル
	4月22・23日(水・木)	9:30～16:30	営業力基礎セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	5月15～16日(金～土)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修	教 育	富山県農業総合研修所
	5月20日(水)	9:30～16:00	ビジネス・マナー習得セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	5月28日・6月11日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室A
	6月 3日(水)	9:30～16:30	IE手法による生産現場の改善セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	6月 6日(土)	10:30～15:00	婚活支援イベント 「ボウリング&ランチパーティー」	総務交流	富山地铁ゴールデンボウル・ ホテルグランテラス富山
	6月10日(水)	13:30～16:00	第1回労働法実務講座	人事・労務政策	富山商工会議所ビル

「富山経協」vol.818

2015年(平成27年)4月号  
2015年4月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)

TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>Eメール [info@toyama-keikyo.jp](mailto:info@toyama-keikyo.jp)